

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社 ネプロジャパン

上場取引所 東

コード番号 9421 URL <http://www.nepro.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 俊光

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 野澤 創一

TEL 03-6803-3976

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年3月期第3四半期 | 12,072 | △9.5 | △127 | — | △125 | — | △137 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 13,340 | 22.6 | 204 | △15.1 | 51 | △74.8 | 89 | — |

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △177百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △37百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第3四半期 | △52.60 | — |
| 25年3月期第3四半期 | 34.28 | — |

(注) 1. 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成26年3月期第3四半期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。平成25年3月期第3四半期は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | | |
| 26年3月期第3四半期 | 5,961 | | 1,265 | | 15.9 | |
| 25年3月期 | 6,277 | | 1,493 | | 17.4 | |

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 946百万円 25年3月期 1,092百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期 | — | 0.00 | — | 2,000.00 | 2,000.00 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 26年3月期(予想) | | | | 20.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割を行っておりますが、当該株式分割前の配当金につきましては実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|-------|------|-----|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 17,500 | △2.4 | 130 | △49.1 | 100 | 6.9 | 10 | △80.7 | 3.84 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年3月期3Q | 2,675,200 株 | 25年3月期 | 2,675,200 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年3月期3Q | 69,000 株 | 25年3月期 | 69,000 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年3月期3Q | 2,606,200 株 | 25年3月期3Q | 2,606,200 株 |

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き海外景気の動向が我が国の景気の下振れリスクとしてあるものの、輸出は持ち直しており、個人消費も底堅く、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動の影響が見込まれるものの、景気は緩やかに回復しつつあります。

一方、当社の主な事業分野である携帯電話販売市場は、9月に米国アップル社が発表した新型iPhoneの主要通信事業者3社の取り扱いにより、スマートフォンやタブレット端末の普及が一段と進む一方、端末での同質化が進んでおり、AndroidOSを搭載した機種での差別化や高速なLTEネットワーク及び料金・サービス面での訴求等の競争が激しさを増しております。また、根強い人気を背景にフィーチャーフォンのラインナップも見直されてきております。

このような事業環境のなか、当社グループでは、スマートフォンの販売比率の増加に対応すべく、店舗の大型化やリニューアルを進めるとともに、販売力の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、新型iPhone発売による買い替え需要があったものの、iPhone5sの在庫不足による影響や年末商戦の本格化が例年より遅かったことから、想定した水準ほどまでには販売台数は伸びず、12,072百万円と前年同期と比べ1,267百万円(9.5%減)の減収となりました。

営業損益及び経常損益は、移動体通信事業においては、携帯電話専売店の人員体制の増強及び店舗のリニューアル等を実施したものの、競争激化による粗利率の低下及び販売台数が想定した水準ほどまでには伸びなかったことに加え、モバイルゲーム事業においては、一部開発案件において収益計上が第4四半期へずれ込んだこと等から、127百万円の営業損失(前年同期は204百万円の営業利益)、125百万円の経常損失(前年同期は51百万円の経常利益)となりました。

四半期純損益は、少数株主損失等を加減した結果、137百万円の四半期純損失(前年同期は89百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、変更内容につきましては、「4. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

①移動体通信事業

当セグメントにおきましては、当社にて特定の移動体通信事業者の端末・サービスを取り扱う携帯電話専売店(キャリアショップ)、連結子会社である(株)キャリアフリーにて複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、携帯電話専売店の人員体制の増強及び店舗のリニューアル等を実施するとともに、新型iPhone発売による買い替え需要の取り込みに取り組んだものの、競争激化による粗利率の低下、並びにiPhone5sの在庫不足による影響や年末商戦の本格化が例年より遅かったことから、想定した水準ほどまでには販売台数は伸びず、売上高は10,527百万円と前年同期と比べ1,010百万円(8.8%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は165百万円と前年同期と比べ277百万円(62.7%減)の減益となりました。

②モバイルゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)モバイル&ゲームスタジオにてゲームコンテンツの企画・制作を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、一部開発案件において収益計上が第4四半期へずれ込んだことから、売上高は1,264百万円と前年同期と比べ247百万円(16.4%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は52百万円と前年同期と比べて6百万円(11.5%減)の減益となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、人材コンサルティング事業等を行っております。人材コンサルティング事業につきましては、連結子会社である(株)シーズプロモーションにて当社グループ移動体通信事業の店舗に対する人材派遣及び携帯端末メーカーから委託を受け携帯電話の販売プロモーション等を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、販売プロモーションの受注が大きく減少したものの、関西オフィス開設により、売上高は453百万円と前年同期と比べ21百万円(4.5%減)の減収に止まりましたが、関西オフィス早期立ち上げのための費用増加が響き、セグメント損失(営業損失)は19百万円(前年同期は12百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、5,961百万円となり前連結会計年度末と比べ315百万円の減少となりました。主な減少要因は売掛金の減少555百万円等であり、増加要因は商品の増加275百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、4,696百万円となり前連結会計年度末と比べ87百万円の減少となりました。主な減少要因はその他流動負債187百万円、短期借入金129百万円の減少等であり、増加要因は長期借入金の増加245百万円等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、1,265百万円となり前連結会計年度末と比べ228百万円の減少となりました。主な要因は四半期純損失137百万円、配当金の支払額52百万円、少数株主持分の減少82百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、移動体通信事業においては、競争激化による粗利率の低下、並びにiPhone5sの在庫不足による影響や年末商戦の本格化が例年より遅かったことから、販売台数が想定した水準ほどまでには伸びず、また、モバイルゲーム事業においては、一部開発案件において収益計上が第4四半期へずれ込んだことから、損益が赤字となりましたが、移動体通信事業においては、学割の早期スタート等の販売施策による販売台数の回復、並びにアクセサリ販売の拡充やアフィリエイト収入の拡大の取り組み等により収益の拡大が見込まれ、加えて、モバイルゲーム事業において、第4四半期へのずれ込み分の収益計上が見込まれることから、損益の改善を見込んでおります。

以上から、当連結会計年度(平成26年3月期)の業績見通しにつきましては、平成25年11月13日発表の業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 437,490 | 292,712 |
| 売掛金 | 2,241,870 | 1,685,902 |
| 商品 | 583,358 | 859,092 |
| 仕掛品 | 16,225 | 131,319 |
| 貯蔵品 | 5,737 | 14,052 |
| その他 | 358,883 | 275,103 |
| 貸倒引当金 | △2,278 | △2,278 |
| 流動資産合計 | 3,641,287 | 3,255,903 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 323,799 | 415,742 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 201,694 | 173,102 |
| その他 | 74,093 | 53,467 |
| 無形固定資産合計 | 275,787 | 226,570 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 820,236 | 752,726 |
| 繰延税金資産 | 837,972 | 852,898 |
| 長期未収入金 | 384,463 | 349,573 |
| その他 | 410,613 | 468,260 |
| 貸倒引当金 | △416,507 | △359,798 |
| 投資その他の資産合計 | 2,036,779 | 2,063,660 |
| 固定資産合計 | 2,636,365 | 2,705,973 |
| 資産合計 | 6,277,652 | 5,961,876 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,245,425 | 1,281,277 |
| 短期借入金 | 1,240,655 | 1,110,808 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 443,693 | 403,324 |
| 未払法人税等 | 39,815 | 26,015 |
| 賞与引当金 | 61,270 | 32,562 |
| その他の引当金 | 6,683 | 5,023 |
| その他 | 954,252 | 767,131 |
| 流動負債合計 | 3,991,796 | 3,626,141 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 439,465 | 684,592 |
| 退職給付引当金 | 123,338 | 138,814 |
| その他 | 229,870 | 247,326 |
| 固定負債合計 | 792,674 | 1,070,733 |
| 負債合計 | 4,784,470 | 4,696,874 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 592,845 | 592,845 |
| 資本剰余金 | 345,180 | 345,180 |
| 利益剰余金 | 141,207 | △47,991 |
| 自己株式 | △28,635 | △28,635 |
| 株主資本合計 | 1,050,597 | 861,398 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41,903 | 85,468 |
| その他の包括利益累計額合計 | 41,903 | 85,468 |
| 少数株主持分 | 400,681 | 318,136 |
| 純資産合計 | 1,493,182 | 1,265,002 |
| 負債純資産合計 | 6,277,652 | 5,961,876 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 売上高 | 13,340,306 | 12,072,598 |
| 売上原価 | 10,573,143 | 9,691,558 |
| 売上総利益 | 2,767,163 | 2,381,039 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,562,189 | 2,508,570 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 204,973 | △127,530 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,981 | 8,414 |
| 受取補償金 | — | 10,239 |
| 受取手数料 | 15,757 | 30,539 |
| 不動産賃貸料 | 5,378 | 5,261 |
| その他 | 5,870 | 7,912 |
| 営業外収益合計 | 32,988 | 62,366 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 53,704 | 44,569 |
| 支払手数料 | 2,444 | 54 |
| 貸倒引当金繰入額 | 129,976 | 12,624 |
| その他 | 592 | 3,456 |
| 営業外費用合計 | 186,717 | 60,705 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 51,245 | △125,870 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 4,043 | 3,726 |
| 特別利益合計 | 4,043 | 3,726 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1,000 | — |
| 減損損失 | 52,679 | 52,758 |
| 投資有価証券評価損 | 17,405 | — |
| 賃貸借契約解約損 | 19,200 | 23,602 |
| その他 | 1,610 | — |
| 特別損失合計 | 91,896 | 76,360 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △36,607 | △198,505 |
| 法人税等 | 31,943 | 22,206 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △68,551 | △220,711 |
| 少数株主損失(△) | △157,880 | △83,636 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 89,329 | △137,075 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) |
|--------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △68,551 | △220,711 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 31,012 | 43,564 |
| その他の包括利益合計 | 31,012 | 43,564 |
| 四半期包括利益 | △37,539 | △177,146 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 120,341 | △93,510 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △157,880 | △83,636 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| | 移動体通信事業 | モバイルゲーム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,538,200 | 1,511,970 | 13,050,170 | 290,135 | 13,340,306 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 184,896 | 184,896 |
| 計 | 11,538,200 | 1,511,970 | 13,050,170 | 475,031 | 13,525,202 |
| セグメント利益 | 442,875 | 59,860 | 502,735 | 12,948 | 515,684 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 502,735 |
| 「その他」の区分の利益 | 12,948 |
| セグメント間取引消去 | 38 |
| のれん償却額 | △43,220 |
| 全社費用(注) | △267,528 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 204,973 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信事業」セグメントにおいて、今後建替え、移転及び閉鎖予定の店舗設備等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては43,592千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| | 移動体通信事業 | モバイルゲーム事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,527,294 | 1,264,630 | 11,791,924 | 280,673 | 12,072,598 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 173,030 | 173,030 |
| 計 | 10,527,294 | 1,264,630 | 11,791,924 | 453,703 | 12,245,628 |
| セグメント利益又は損失(△) | 165,143 | 52,969 | 218,113 | △19,327 | 198,785 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益又は損失(△) | 金額 |
|--------------------|----------|
| 報告セグメント計 | 218,113 |
| 「その他」の区分の損失(△) | △19,327 |
| セグメント間取引消去 | 171 |
| のれん償却額 | △44,016 |
| 全社費用(注) | △282,471 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失(△) | △127,530 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

前連結会計年度より、経営管理の手法を見直したことにより、報告セグメントの利益又は損失の算定方法について、のれんの償却費を各報告セグメントに配分しない方法に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の方法により作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信事業」セグメントにおいて、一部店舗設備の収益悪化等により減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては29,534千円であります。

「モバイルゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては1,756千円であります。

報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては21,467千円であります。

(重要な後発事象)

重要な会社分割について

当社は、平成26年2月14日開催の取締役会において、平成26年4月1日を効力発生予定日として、当社の移動体通信事業を会社分割（新設分割）し、持株会社化することを決議しました。

1. 会社分割の目的

当社グループ主力の移動体通信事業においては、今後更に大きな環境変化が予測される中、通信事業者ごと、エリアごとの迅速な対応がますます必要とされており、事業戦略の効率的な遂行と経営の意思決定の更なる迅速化を目指します。また、モバイルゲーム事業及びその他事業については、持株会社に経営機能を集中し、事業子会社はより事業に集中することで、戦略的に事業拡大を図り、当社グループの企業価値の向上に努めてまいります。

2. 会社分割する事業内容

| 承継会社の名称 | 事業内容 |
|---------------|---------------------------------|
| 株式会社ネプロモバイル関東 | 関東エリアで展開するドコモショップの運営およびその付随業務 |
| 株式会社ネプロモバイル東海 | 東海エリアで展開するドコモショップの運営およびその付随業務 |
| 株式会社ネプロモバイル関西 | 関西エリアで展開するドコモショップの運営およびその付随業務 |
| 株式会社ネプロクリエイト | auショップおよびソフトバンクショップの運営およびその付随業務 |

3. 会社分割の形態

当社を分割会社とし、新たに設立する会社を承継会社とする分社型の新設分割の方法によります。

4. 会社分割の時期

| | |
|--------------|----------------|
| 分割計画取締役会決議 | 平成26年2月14日 |
| 分割計画承認株主総会開催 | 平成26年3月28日(予定) |
| 分割期日(効力発生日) | 平成26年4月1日(予定) |

5. 会社分割に係る承継会社の概要(予定)

| | |
|---------|---------------------|
| 承継会社の名称 | 株式会社ネプロモバイル関東 |
| 本店の所在地 | 東京都世田谷区三軒茶屋二丁目15番8号 |
| 代表者の氏名 | 徳永 正和 |
| 資本金の額 | 50,000千円 |

| | |
|---------|----------------------|
| 承継会社の名称 | 株式会社ネプロモバイル東海 |
| 本店の所在地 | 愛知県名古屋市中区東区八前一丁目803番 |
| 代表者の氏名 | 三牧 孝誌 |
| 資本金の額 | 50,000千円 |

| | |
|---------|--------------------|
| 承継会社の名称 | 株式会社ネプロモバイル関西 |
| 本店の所在地 | 京都府京都市伏見区桃山町西尾33番2 |
| 代表者の氏名 | 三牧 孝誌 |
| 資本金の額 | 50,000千円 |

| | |
|---------|------------------|
| 承継会社の名称 | 株式会社ネプロクリエイト |
| 本店の所在地 | 東京都中央区京橋一丁目11番8号 |
| 代表者の氏名 | 成瀬 誠 |
| 資本金の額 | 50,000千円 |

(注) その他の事項については、現時点では未定であります。